

## PRESS RELEASE

2012年9月11日

株式会社インターネットイニシアティブ

### IIJ、「コンテナ型データセンターモジュール」に関する特許権を取得

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、IIJ が独自開発したコンテナ型データセンターモジュール「IZmo(イズモ)」に関する特許権を取得しましたのでお知らせいたします。

#### 【特許の概要】

- 特許番号: 第 5064538 号
- 発明の名称: コンテナ型データセンターモジュール
- 特許取得日: 2012年8月17日

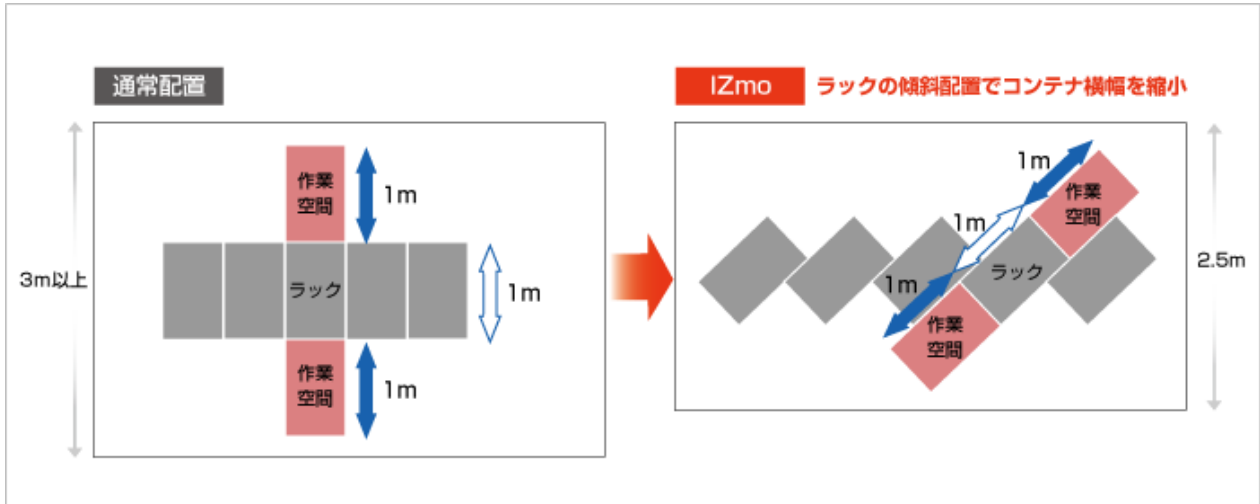
IZmo は、IIJ が独自に企画・開発したコンテナ型の IT モジュールで、コンテナ内に設置する複数のラックを斜めに配置することで、作業空間など必要なスペースを確保しながら、コンテナのサイズ縮小を実現しています。今回の特許取得は、このラックの傾斜配置について独自性が認められたもので、さらに本発明により以下の効果が得られます。

- ・ コンテナの小型化により輸送コストを削減  
IZmo では、コンテナ内のラックを傾斜配置することで、コンテナの幅を 2.5m 以下に抑えることを実現しました。これにより、トレーラー等の特殊車両ではなく通常的大型トラックでの運搬が可能となり、特殊車両通行許可申請などを簡略化できるとともに、輸送コストも約 1/3 に低減できます。
- ・ ラック側面にできたスペースの有効活用  
傾斜させることでラック側面にスペースが生じるため、コンセントバーなど従来ラック内に収容していた機材をラック外部に設置でき、ラック内に奥行の長い機器を設置するような場合にも、十分なスペースを確保できます。
- ・ 側面からの冷気供給により通信機器を効率的に冷却  
ルータ等の通信機器では、側面に吸気口をもつ機種が多いにもかかわらず、従来のデータセンターではラックの側面はふさがれていました。IZmo ではラックの傾斜設置により、側面から冷気を取り入れることができ、通信機器をより効率的に冷却することが可能となります。

IIJ は、商用としては日本で初めて 2011 年 4 月に運用を開始した、外気冷却コンテナ型データセンター「松江データセンターパーク」に IZmo を設置し、IIJ のクラウドサービス「IIJ GIO サービス」のシステム基盤として利用しています。

IIJ では今後とも、クラウド環境に最適なファシリティの構築を目指し、低コストでエネルギー利用効率の高いデータセンターを展開してまいります。

■ 傾斜配置の効果(イメージ)



■ コンテナ型データセンターモジュール「IZmo」



コンテナ型データセンターモジュール「IZmo」



IZmo 内部の作業空間

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、村松

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp) URL: <http://www.ij.ad.jp/>